

2026 第1回

# JPS ハン コイク ション 写真賞

いま  
現代を写真で語る

## 作品募集

応募用紙はJPSホームページ <https://www.jps.gr.jp/> から

募集期間 <sup>2026</sup> 7.1 <sub>水</sub> — 8.17 <sub>月</sub> 必着

応募資格 30歳までの方 (1996年1月1日以降生まれ)

提出作品 六ツ切またはA4サイズの同一テーマのプリント  
15枚以上30枚以下

2026 第1回

# JPS ノン フィク ション 写真賞

公益社団法人日本写真家協会は、30歳以下の写真家による優れたノンフィクション作品を顕彰するため「JPSノンフィクション写真賞」を創設いたしました。本賞は、現代と向き合う写真表現を評価し、次世代の写真家育成に寄与するものです。

## 作品募集

### 応募要項

#### 応募資格

応募者は30歳以下(1996年1月1日以降生まれ)の方で、プロ、アマチュアは問いません。

#### 応募規定

- 1 撮影ジャンルは問いません。
- 2 発表、未発表は問いませんが、他のコンテストで受賞が決定または内定しているものは除きます。
- 3 フィルム、デジタルなど、いずれで撮影されたものでも構いません。ただし加工、合成、画像生成AIを使用したものは不可とします。  
\*受賞作品は写真展用に大伸ばし(半切～全紙)にしますので、デジタルの場合は、撮影画素数にご留意ください。
- 4 提出作品は、六ツ切(8×10インチ)またはA4サイズの同一テーマのプリント15枚以上30枚以下。作品は額装、台紙貼り、製本、ファイリング等はいししないでください。  
\*必ず作品の順番が分かるように、裏面に番号を明記してください。
- 5 応募作品に添付するものとして、撮影者履歴、題名(タイトル)、撮影意図(800～1000字以内)を同封。
- 6 公序良俗に反しないもの、被写体の肖像権のほか管理、所有権等について問題が生じないもの。
- 7 受賞作品の画像データ等を提出していただきます。

#### 審査員

熊切大輔(写真家・公益社団法人日本写真家協会 会長)、小松由佳(写真家・公益社団法人日本写真家協会 会員)、鳥原学(写真評論家)(予定)

#### 賞金等

- JPSノンフィクション写真賞 1名 賞金50万円
- JPSノンフィクション写真賞奨励賞 1名 賞金10万円
- \* 12月に授賞式、1月以降に東京、大阪で受賞作品 写真展を開催予定。

#### 著作権・使用権について

- 1 受賞作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 2 受賞後2年間、JPSノンフィクション写真賞の広報・宣伝活動に優先して使用します。ただし、その後も当協会のPR活動や歴史展、沿革史等に掲載させていただくことがあります。  
\*データは上記目的以外には使用いたしません。

#### 応募期間と送付・提出先

- 1 応募期間 2026年7月1日(水)～8月17日(月)必着。  
持参の場合は午後5時まで。
- 2 送付・提出先 追跡のできる郵送または宅配便(送料は応募者負担)または持参。  
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCIビル303  
公益社団法人日本写真家協会「JPSノンフィクション写真賞」係  
TEL 03-3265-7451

#### 受賞作品発表

9月中旬頃に当協会ホームページで発表いたします。

#### 作品の返却

- 1 応募作品は受賞作品発表後2カ月以内に返却します。
- 2 返却希望の方は、返却希望と朱書きしてください。受取人払いの宅配便にて返却します。梱包資材等は返却いたしませんのでご了承ください。  
\*受賞作品の返却及び海外への返却はいたしません。

#### 応募票

応募票は当協会ホームページからダウンロードするか、メールにてご請求ください。

<https://www.jps.gr.jp/>

E-mail: [info@jps.gr.jp](mailto:info@jps.gr.jp)



[www.jps.gr.jp](http://www.jps.gr.jp)

公益社団法人

日本写真家協会

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地JCIビル303  
TEL 03-3265-7451 FAX 03-3265-7460

#### 審査員紹介

##### 熊切大輔

(写真家・公益社団法人日本写真家協会 会長)



東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経て独立。「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影。2018年写真展及び写真集「刹那 東京で」を発表。「東京美人景」「東京動物園」と併せて東京の今を撮る三部作となる。そのほかに「Solitude NYC」「演じるコト 俳優 石丸幹二の1年」等の写真展も開催。カメラ誌等連載、学校や写真教室の指導、トークショーなども行う。

##### 小松由佳

(写真家・公益社団法人日本写真家協会 会員)



1982年秋田県生まれ。幼少時より山に魅せられ、2006年、世界第二の高峰K2(8611m/パキスタン)登頂など。植村直己冒険賞受賞。次第に風土に根ざした人間の営みに惹かれ、写真家に転向。シリアの紛争によって多くの難民が生まれる光景を目にし、2012年からシリア内戦・難民取材。著書に「人間の土地へ」(集英社インターナショナル/2020年9月)、「シリアの家族」(集英社/2025年11月)など。第8回山本美香記念国際ジャーナリスト賞、第23回開高健ノンフィクション賞受賞。

##### 鳥原学

(写真評論家)



1965年大阪府生まれ、近畿大学卒。2000年からフリーで活動し、執筆を中心に写真評論を行う。現在は写真教育や展示企画にも携わり、日本写真芸術専門学校、東京造形大学、武蔵野美術大学などで教鞭をとる。日本写真協会賞学芸賞受賞。主な著書に「日本写真史(上・下)」、「教養としての写真全史」など。



